

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	産業振興課担当課長	茶木 久美子
市民-18 農業振興運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	産業振興課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	農業従事者等
意図	農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。
効果	農業経営の安定と農産物の安定供給

2 平成26年度に実施した事業の概要

農業者・関係団体・公募市民から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
 植木剪定材を利用し、農業に適した堆肥を作成・販売することにより、堆肥の利用を促進し化学肥料の使用量削減に取り組んだ。
 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度を円滑に運用した。
 平成26年2月の降雪により、ガラスハウス等に損害を受けた被災農業者に対し、国及び県と協調して修繕費等の補助金を交付した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	7,910	決算値(千円)	21,260	
	国県支出金	1,523	国県支出金	12,587	
	地方債	0	地方債		
	その他	2,484	その他	1,371	
	一般財源	3,903	一般財源	7,302	
事業経費運営	人員配置数	1.4	人員配置数	1.4	
	人件費(千円)	10,770	人件費(千円)	10,723	
	総事業費(千円)	18,680	総事業費(千円)	31,983	
	市民1人当りの経費(円)	105	市民1人当りの経費(円)	180	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	①平成26年2月の記録的な雪害を受けた農業者に対して、国・県と連携し、被災農業施設再建の支援を行う必要がある。 ②遊休農地調査により確認された荒廃地の所有者毎の解決策を検討する必要がある。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	①雪害を受けた農業者への支援については、10名から補助金交付申請を受け、そのうち9名に対し補助金を交付した。なお、1名については、26年度中に修繕が完了しなかったため、平成27年度へ事業を繰り越した。 ②遊休農地の解消については、農業委員会及びJAさがみと連携して開催した農地相談会において、所有者毎に抱える実情を踏まえ解決策を提案した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	雪害を受け、平成27年度に事業を繰り越した1名に対し補助金を交付し、支援事業を完了させる必要がある。 遊休農地の解消については、引き続き農業委員会、JAさがみ、遊休農地解消対策協議会と連携し、取り組みを継続する必要がある。 農業振興協議会から提言された様々な振興策について、農業者の現状を踏まえ、検討する必要がある。	
効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 農業者
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 農業者や農業関係団体と連携し、農業振興を図る上で適切な補助金交付を行う。
総評	遊休農地の解消、新たな農業の担い手の確保や後継者の育成の課題を解決するため、人・農地プランの活用に向けてJAさがみ、農業者等と協議をしていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総農家数(平成22年農業センサスより)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	秦野市	三浦市
他市実績	152戸	713戸	656戸	1,822戸	2,297戸	689戸	127戸	1,475戸	804戸
比較事項	耕地面積(耕地面積平成22年農業センサスより。下段市域面積に対する耕地面積の割合)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	秦野市	三浦市
他市実績	60ha 1.5%	699ha 10.1%	300ha 8.4%	1,115ha 16.4%	1,167ha 10.2%	426ha 4.2%	39ha 2.3%	659ha 6.4%	1,022ha 31.7%
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市の耕地面積と比較するため。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	遊休農地解消面積						単位	ha	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
農地が健全かつ効率的に利用されていることを示す指標となるため。	目標値		6.2	6.1	6.0	5.9	5.8				
	実績値	6.5									
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--